

令和元年度

一般社団法人 埼玉県校外教育協会委嘱

## 校外教育 研究の取組

### 研究主題

地域に根ざし、地域の特色を生かした体験活動による、  
生き生きと学ぶ児童の育成



## さいたま市立栄小学校

〒331-0058 さいたま市西区飯田811

電話 048-623-0775

FAX 048-624-2336

ホームページ <http://sakae-e.saitama-city.ed.jp/>

E-mail [sakae-e@saitama-city.ed.jp](mailto:sakae-e@saitama-city.ed.jp)

## 1 学校概要

栄小学校は、さいたま市の西（西区）に位置し、昭和48年に旧大宮市の、佐知川地区・指扇地区及び西遊馬地区にまたがる地を埋め立てて造られました。そこで本校は、3つの地域の境目のにあることから“境目 栄える 小学校”の願いを込めて「栄小学校」と名付けられました。」

本校は、東日本大震災で校舎の一部が損壊しましたが、平成26年2月より新校舎での教育活動を開始しました。子どもたちはきれいな校舎で日々元気に生活しています。また、平成6年より地域の方々の協力のもと、さくら草の栽培・普及活動に全校で取り組んでいます。そして、平成14年からは総合的な学習の時間を中心に、お囃子の体験学習も行っています。

学校教育目標等は、次の通りで、教職員と保護者・地域が一丸となって教育活動に取り組んでいます。

### ◎学校教育目標

○健康でたくましい子 ○進んでかかわる子 ○思いやりのある子

### ○目指す学校像

- |                     |
|---------------------|
| ●「あした・希望・未来」へ羽ばたく学校 |
| ●みんなで知恵を出し合い創りあげる学校 |

### ○目指す児童像

- |           |     |           |
|-----------|-----|-----------|
| 健康でたくましい子 | ・・・ | ●元気いっぱい   |
| 進んでかかわる子  | ・・・ | ●あいさついっぱい |
| 思いやりのある子  | ・・・ | ●なかよしいっぱい |

## 2 研究の概要

### (1) 研究テーマ及びテーマ選定理由

テーマ：地域に根ざし地域の特色を生かした体験活動による生き生きと学ぶ児童の育成

選定理由：本校は、平成6年より地域の方々の協力の下、さくら草の栽培・普及活動に全校で取り組んでいる。また、平成14年より総合的な学習の時間を中心に、お囃子の体験学習を行っている。そこで、このような活動を一層推進して、子どもが、積極的に社会に参画する態度や能力を育成したいと考えたものである。

### (2) 研究計画

#### ○研究のねらい

地域が有する豊かな自然環境や郷土芸能の大切さを理解し、関わっていく中で、地域に愛着をもつ児童の育成を図り、社会に積極的に参加する態度や能力を育成する。

#### ○スケジュール

- 4月 さくら草を楽しむ会（栽培委員会、さくら草ボランティア、PTA）
- 5月 さくら草を知ろう（4年生が自分のさくら草を育てる）
- 6月 錦乃原さくら草自生地見学（4年生）
- 12月 さくら草の芽分け・芽植え（PTA、さくら草ボランティア、3・4年生）
- 1月 さくら草について、3年生に伝えよう（4年生）
- 1月 お囃子体験（佐知川上お囃子保存会から3年生が指導を受ける）
- 2月 お囃子体験（佐知川上お囃子保存会から3年生が指導を受ける）
- 3月 お囃子発表会（保護者と2年生に、お囃子を披露する）

#### ○期待される成果

- ・地域社会の中で大人や様々な年齢の方々と進んで交流し、様々な体験を重ねることで、社会性や他者の個性を尊重し、新たな課題に立ち向かおうとする意欲や能力を養う。
- ・地域の自然、伝統・文化への理解を深める活動を通し、郷土や国を愛する心をはぐくみ、これからの国際社会を生きていく上での国際社会の一員としての意識の涵養を図る。

### 3 実際の取組

#### (1) さくら草の栽培、普及活動



※4月の「さくら草を楽しむ会」では、さくら草を鑑賞するとともに保存会・ボランティアの方から育て方についての説明がありました。



※保護者や地域の方、近隣の幼稚園児が毎年鑑賞に来ています。



※12月には、来年度のために芽植えを行います。



※2月には、4年生が3年生に、さくら草について学んだことを説明する会をもちます。この会を行ったことで3年生がさくら草への関心を高めることができました。



4年生も自慢のさくら草を誇らしげに説明していました。

## (2) お囃子体験活動



※佐知川上おはやし保存会の方々に太鼓と踊りを教えていただきます。太鼓の練習は古タイヤをたたくことから始めます。



※太鼓も踊りも少人数で細かく丁寧なご指導があり、日に日に上達し、自信を付け、楽しく取り組みました。



※今年度は一斉臨時休業のため、発表会ができませんでした。とても残念でしたが、これまでの練習でおはやしについての理解を深めることができました。

### 4 研究の成果と課題 (成果：○ 課題：●)

- 地域に引き継がれてきた「さくら草」や「おはやし」を保存会の方々に教えていただくことで、地域の歴史を知り、継承していくことの大切さを実感することができたようである。この学習をきっかけとして、地域の活動に参加する児童もいた。
- さくら草保存会、ボランティアの方の高齢化が進み、若い世代の人材確保が課題。